

思いやりとは……

ちょっと想像してみましよう。

あなたは今、遊びに出かけた帰りで、電車に乗っています。あなたは座席に座っていますが、電車は混んでいて空いている座席はありません。

ある駅で一人のお年寄りが乗ってきました。手には杖を持ち、少し足を引きずるようにしています。それを見たあなたはどうしますか？

例えば……



「揺れる電車の中で立っているのはつらそうだ。僕は若いし元気だ。だから席を譲ろう。」と考えて、席を譲る。



「揺れる電車の中で立っているのはつらそうだ。僕は若いし元気だ。だから席を譲ろう。でも、声をかけるのが何だか恥ずかしいし、もし断られたらカッコ悪いよな。」と考えて、そのまま座り続ける。



「電車でお年寄りや体の不自由な人を見かけたら席を譲りなさいって、お母さんがいつも言ってたよな。」と考えて、席を譲る。

思いやりとは……



「揺れる電車の中で立っているのはつらそうだ。席を譲ったほうがいいよな。でも、私も今日はとても疲れているし、降りる駅までまだ先が長いから立つのはいやだな。」と考えると、そのまま座り続ける。



「揺れる電車の中で立っているのはつらそうだ。席を譲ったほうがいいよな。でも、私も今日とても疲れているし、降りる駅までまだ先が長いから立つのはいやだな。でも、やっぱり譲ったほうがいいよな。しかたない。」と考えると、席を譲る。



「お年寄りが乗ってきたことも、席が全部埋まっていることも、気づかなかったことにしよう。」と考えると、そのまま座り続ける。

さて、あなただったらどうするでしょうか？

思いやりの心をもつことや、思いやりのある行動をしていくことの大切さは、みんな理解しているはずです。その一方で、「分かってはいたのにできなかった」、「やろうという気持ちがあったのに一歩が踏み出せなかった」、そんな経験をしたことのある人も多いのではないのでしょうか。

思いやりの心をもっているとしても、行動に移せなければ意味がないのでしょうか。思いやりの心などなくても、行動さえできればそれでいいのでしょうか。

「思いやり」とは……。

日本から学ぶ 10 のこと

元世界銀行副総裁 西水美恵子さんの毎日新聞への寄稿（平成25年2月10日）より

平成23年3月11日午後2時46分、日本を襲った巨大地震は、東北地方から関東地方にかけての太平洋沿岸を中心に、甚大な被害をもたらした。

世界銀行副総裁だった西水美恵子さんは、その時、カリブ海のバージン諸島にいた。午前2時前だった。電話が鳴った。元部下の女性からだった。出張で東京に来ていて震災に遭ったという。震える涙声で、彼女は地震直後の日本の様子を西水さんに伝えた。

「ミエコの国の人たちはすばらしい…。強い余震が来る中で…。みんなまわりの人を思いやり…。助け合っている…。」

しばらくして、ワシントンに戻った元部下から西水さんのもとに1通のメールが転送されてきた。「これが世界銀行やIMF（国際通貨基金）はもとより世界中を駆け回っている。」というメッセージとともに送られてきたメールには、次のように書かれていたという。

日本から学ぶ 10 のこと

1 平 静

悲痛に胸を打つ姿や、悲嘆に取り乱す姿など見当たらない。悲しみそのものが気高い。

2 威 厳

水や食料を得るためにあるのは、秩序正しい行列のみ。乱暴な言葉や、無作法な動作など、ひとつとしてない。

3 能 力

例えば、驚くべき建築家たち。ビルは揺れたが、崩れなかった。

4 品 格

人々は、皆が何かを買えるようにと、自分に必要な物だけを買った。

5 秩 序

店舗では、略奪が起こらない。路上では、追い越し車も警笛を鳴らす車もない。思慮分別のみがある。

6 犠 牲

50人の作業員が、原子炉に海水をかけるためにとどまった。彼らに報いることなどできようか？

7 優 し さ

レストランは、値を下げる。無警備のATM（現金自動受払機）は、そのまま。強者は弱者を介助する。

8 訓 練

大人も子供も、全ての人が、何をすべきかを知っていた。そして、すべきことをした。

9 報 道

崇高な節度を保つ速報。愚かな記者やキャスターなどいない。平静なルポのみがある。

10 良 心

停電になった時、レジに並んでいた人々は、品物を棚に戻して静かに店を出た。